

5. 設営後の状況

タバオ上陸設営出航途十月二日一月一日迄
二五日餘の短ソ仕レリ日々あつた 整備出来た才
文書に取かかつた状況で休息の暇がなかつた
オニ次進出も後亮し未多 朝日丸 金野丸 日帝丸
等にて二員約六の名及設営機材を塔載し未多の
そのまゝ進出した才であつた タバオは邦人ニの。余
カニヤン~~地~~居て上之領々全時に統放され設営に協
力し是れ也

バックスパニではよ場^の整備一々完了し攻車機による
菊印作戦が始まると二員連中^中みか出た風
で又日本出港の際約二月、日申し渡しありし
敵心矢の如く果荒くなり日本人同志けんか等起る
様になる

主任長の取計で土人々を集め慰安所を同設集
持の緩和に非常中に効果ありたり

6. 所見

一、迅速に収集した機械類の爲が其當時の兵力
の不備の爲が新舊の機械不足にも拘らず故障続
出と陸上作戦の運搬する途中に故障し相当甚
しむ

ダバオに於ては土民は非協同的態度に於て居るが
不安があつたがバタビアンでは非常に好意を持つて
接して是れ協力して是れを

シラネ島

シラネ島



1255

1255



1255

1255

1255

1255
1255

1255

1255

1255

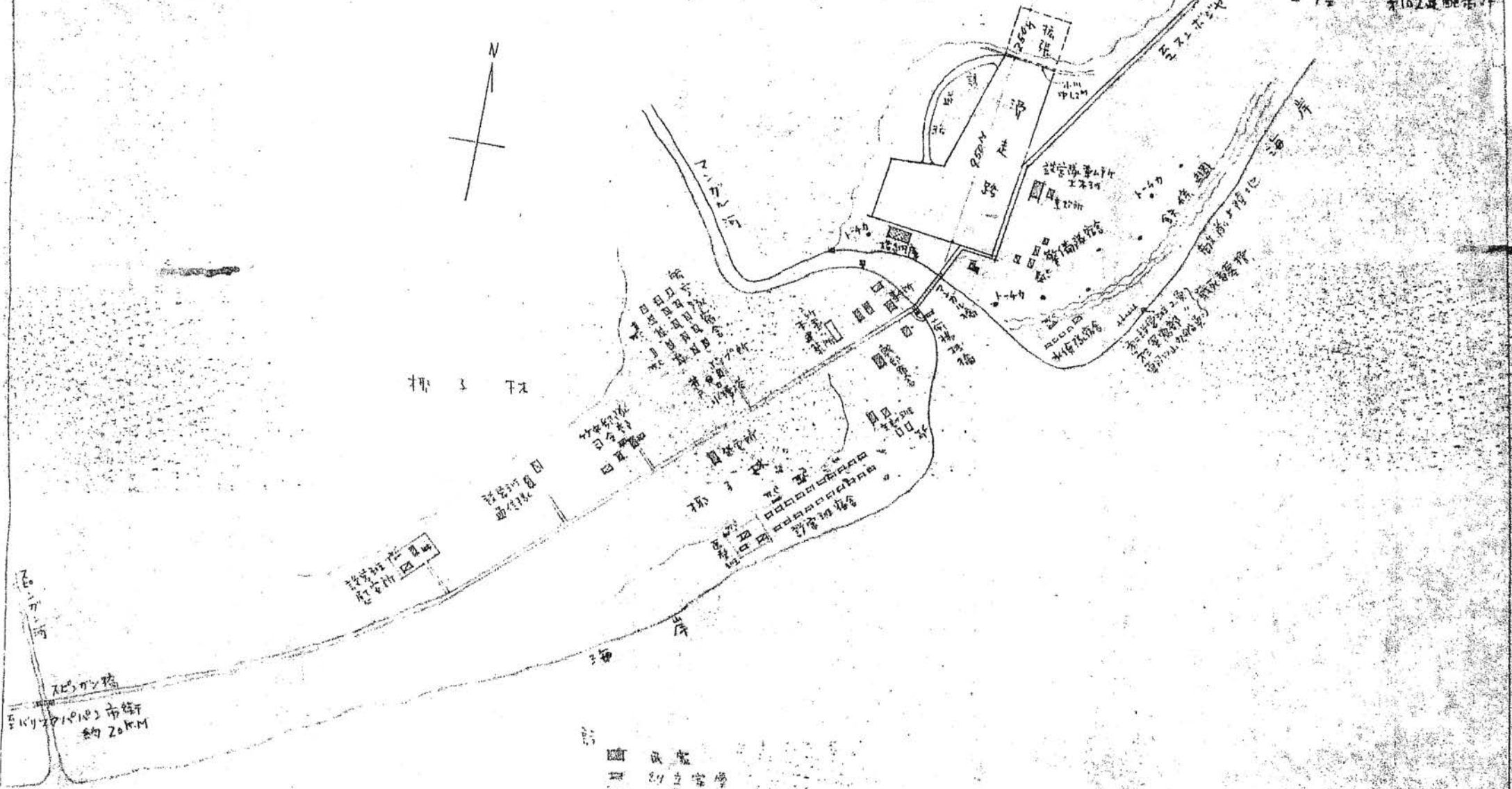


322基地(ハリツクパバ)

完了時の状況

171.24 ~ 173.10
丘陵 約102基配属

密林 (ジャングル)



橋

司令部

兵舎

倉庫

事務所

診療所

学校

公園

墓地

神社

観音堂

稲刈場

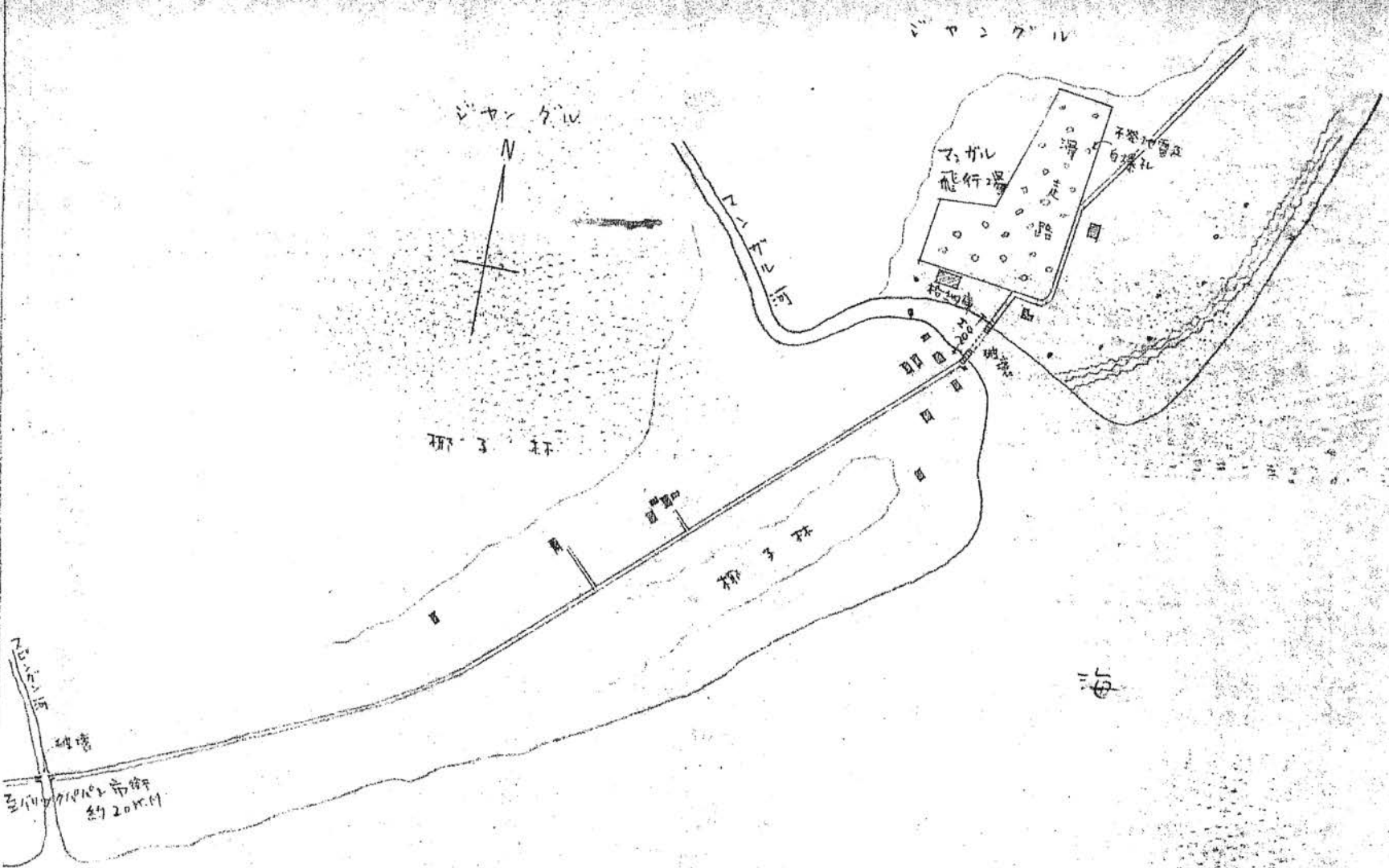
水源地

- 兵舎
- 司令部
- 倉庫
- △ 事務所
- ◇ 診療所 (約100基)

322基地(バリスコバ)

上陸時の状況

17.1.24現在



第二設置班

日記

11. 9 東京

07.30 上京 施設本部 出向。
 第二設置班を編成。第一次フイックの
 タバコ、第二次ホルネオバグックハロハ
 敵方上陸、Y地整備、居住施設の
 整備を言いつた。
 (車種大使渡来途中にて、渡来の上
 会談決裂すればの仮定の上にて)
 種の注意事項其他の論あり。②の赤
 本。タバコ、バグックハロハの状況の
 調査記事を読む。 (防備状態)

- 1. 占領飛行場の補修、定理の 2日~3日以内。
- 1. 持手以下班員、資材手配済。
- 1. 班組織
- 1. 資材積込 - 荷揚の順序に注意し積込
- 1. 何の船に何が積込されているか
 (看み込ませる)

11.10 東京

11.14 } 東京
 .15 } "
 16 } "
 17 } "
 18 } "

07.30 上京 09.00 施設本部。
 種々打合せ
 厚本にて 爆弾坑の埋戻し
 の方法の種々の実験の上。

車種大使ホルネ

11.20
 11.29
 11.29

第二設置班に配属する。
 吳海軍建築部退庁
 吳軍港と港 伊予内海の豊後道
 を経て一路南行 1103オに向う。
 輸送船 台東丸、天龍丸 2船に
 合乗し、資材は外に予
 備南丸に積込し。(備南丸のみ佐
 佐保を寄る)

天龍丸船子木村等

第二設隊

- 班長 技師 矢野研士 (工本)
- 徵用技師 宮地末己 (建築)
- 技手 尾本吾郎 (〃)
- 〃 清水朝行 (〃)
- 〃 鈴木豊雄 (工本)
- (註) 〃 斎藤勝雄 (〃)
- 〃 技士 荒井豊佐 (建築)
- 〃 技士 平本静夫 (〃)
- 〃 〃 佐吉法文 (〃)
- 〃 〃 小島新吾 (工本)
- 〃 〃 榎原冬夫 (〃)
- 〃 〃 野中秋夫 (〃)
- (註) 〃 松浦爲治 (〃)
- 〃 〃 細水俊夫 (電氣)
- 算生 中村正男
- 〃 前田作平
- 守衛 宮本貞雄
- 記錄員 野沢井勝男
- 〃 林忠三
- 〃 福力藤衛

軍医 平敏郎 軍医大尉
 主計 中野根康弘 主計中尉

通信隊 宮西兵曹長
 通信兵

森看護兵曹 看護兵1名
 主計兵曹1名 八杉主計兵

2 員 約2300 名

分二設班 全部部隊編成 313基地 夕ハ才。
部隊長 全部技師。

工学系 (宮地隊) 宮地技師

土木班	鈴木技師	横原技師	横山職手
(水道班)	斎藤技師	小島技師	加天 "
(運輸班)		野中 "	山城 "
		松浦 "	川野 "

建築班	亀本技師	荒井技師	木下 伝次
	清水技師	平本技師	东 "
		佐吉技師	水木職手
			北野 "
			坂井 "
			加藤 "
			中田 "
			松伏 "

電気班

細水技師。以下 4名。

主計長 (中曾根隊) 中曾根主計中尉

主計科班	八杉主計兵	中村筆生	林記録員
			福力 "
烹飪班	河野主計兵曹	前田筆生	野沢井 "

警務班

宮本守衛。

軍医長 (平隊) 平軍医大尉

森看護兵曹。看護兵 以下 8名。

通信長 (宮西隊) 宮西兵曹長 以下 12名。

~~通信班~~

ダハチ基地 残員員

~~皇本隊~~

六部部隊 皇本隊

皇本技手 (建築)

荒井技手 (建築)

斎藤技手 (土木)

松浦 " (土木)

以下 500 名,

322 基地 バリック ハン

ダハチ 残員員を除き、313 基地に同じ。

16. 12. 4/6

1103 沖碇泊
~~上陸~~ 1103 海軍司令部に陸海合同会議 船団隊形、攻撃を待たぬ場合の散開等の注意あり

12. 7

上陸、1103 ^{南洋} 神宮 参拝。

12. 8

宣戦布告を船上にて行ふ。

12. 17

1103 出港。

12. 20 313 基地
夕ハノ
ササヤ塔

(夕ハノ市より北約12 k.m.)
朝明 フレックス タバノ市郊外 ソコニ石油会社 株務所 上陸
株務の水深(約5m)浅く横付け困難な故に天龍丸船長の腕により横付け出来、振揚機を急速に出荷

設置位置施設位置選定
直ニ塔 整備 天幕幕屋 ~~を~~ 準備
設置即天幕完成
自爆孔は10ヶ所あり直ニ掘り着す。

(当夜は終極的
内閣に宿白
残余は露軍)

12. 21

ソコニ 株務所(の倉庫)多量。マニラ
あり 天龍丸に積込み内地へ輸送す

設置即位置の天幕は白色に附近の緑の椰子林とコントラスト強く、敵の攻撃の目標となり 爆撃を受けん。天幕、天幕は土色か、緑色にすべしである

16 12 24

Y場 醫學路の延長に着手 西方椰子軍地帯に侵入
孫(約250m 拡張Lは1,200mとある)

25

大砲2隻 爆破機銃傷工1名
Y場裡で爆6ヶ所 銃4個 2個破壊された

30

Y場 拡張工 2日 完了

(山田隊長以下)

第11連隊に砲2門 100名 見守り 手配した

中攻隊隊員を遣床. 記録班 通信班 衛生班
を屋敷に. 中攻隊 Y場 内地を家屋に
外へ大砲を押し出し 北上を滑走して行(経地の山
の調査)

井戸場 攻隊行

313基地(外へ) 残面者 手合せ(文部省等)

第11連隊に砲2門 100名 見守り 手配した
小松川を堰根 日完成 (解雇 兵隊等 堰根 破壊 せり)

中攻隊 工 攻隊 進位所 手配

313基地 残面者 手合せ 重本隊(隊長等) 手配 以下約200名

陸戦隊 通信班 通信班 通信班

航空隊 通信班 通信班 通信班

第11連隊 司令部 手配
手配 手配 手配

1. 3 4時 10分

飯野中尉

1. 4 時 15分

1. 5 時

1. 6 時

陸戦隊 通信班 通信班 通信班

中攻隊 通信班 通信班 通信班

通信班 通信班 通信班 通信班

Y場 内地を家屋に

Y場 内地を家屋に

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

第11連隊 司令部 手配

1. 7 時

鹿屋一武陸攻
アキニ攻撃

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

1. 8 時

砲一門

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

1. 9 時

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

隊本部 通信班 通信班 通信班

外へ

17 日 1.10 時

(金野山丸 乗下全船隊)

花2次出せ2隻の
乗船客、名簿作製

11. 時

援内乗下全船隊メテ 陸下全隊の左の甲板上
出陣

~~乗船客~~
乗船客のシラカニ占領

12. 時

場内乗下全船隊 本船開合、入船隊のA型機銃を
没す。通信隊一隊2機

13. 時

朝より「テト」片附、乗船準備、午前中に終了。
午後金野山丸荷積り実行。

午後5時乗船す。

14. 時

日(金野山丸)
13.00 ソコニ一石由全船隊機銃を船出す。
此よりソコニ中にて碇泊 15.15 夕下
出港、ソコニ向う。

夕下5時及 ~~乗船客~~
乗船客のシラカニ占領
~~乗船客~~

17 時

夕下中：4kmの地裏に 12.00 碇泊す。

夕下後 322 基地
(1500 1000) 2機
飛行機を撃破する
を以て。

19 時

朝山丸 (夕下時乗船)
77 隊を、荷役機
を以て。

20 時 後時

夕下島行。09.00 船を出。11.00 上陸。
Y 隊一往。一機銃。16.40 上船。18.30 帰船。

21 時

2 隻 + 倉庫改
17.30 夕下出陣。陸海16船団を掃討す。

工場 + 倉庫改 09.05
心臓停止に死亡。

22. 時 小雨

赤道通過。赤道祭行す。

天幕崩壊を以て。

23 時

空襲(3回) 11.00 3機 被害なし。16.40 4機
被害なし。1機撃墜。17.50 1機
最後の1機のロケット。輸送船南河丸爆撃機
火災を起す。死者1名。其他全可救助す。

24 時

未明 バリック10102 マンガル Y 隊沖に碇
泊。04.00 敵駆逐艦襲来。空襲数10回
陸軍輸送船。吳竹丸皇雷を撃ち。馬と兵隊
がやぶれ。2機と兵隊。船員
本船(金野山丸) ~~乗下全船隊~~
車内山丸 (夕下時乗船の経路に及乗下)
砲弾を打ち下す。死者数名及傷者数名
(1回 17.40 夜明け時 2機の空襲に
乗船した 3隻撃破す)

16.1.25 晴

敵艦のミサ 06.00 上陸予定が、おくれ
~~08.00 上陸予定~~ バリック 101102 マカニ

Y 埠 第16号 上陸。Y 埠は基盤の日の標口地番
沿岸に居住施設位置指定 航路工環 建設中の船
居住施設位置指定 天幕張。 降下整備は遅く
マカニ河橋梁仮橋工事 - 着手。
サカ、サカ地方 (油田地帯) 海軍部隊
宿舎整備

2
1
5
4
2

26 晴

土木
バリック 101102 の通気管材を徴発し行く。

27 晴

朝日丸 戦死者 21 名、病死者 2 名の告別式 海岸に墓地を築
を看之とるに行く。 最前線戦死者

28 晴
22-1110

水送用管材及橋梁用木材徴発。
航空隊用居住施設。

29 晴

通信隊用木材徴発。

2.1 晴

Y 埠の事務所完成。(種彦山本隊分遣隊派遣)
植木技士 バリック エルマニ 行決定。

バリック エルマニ Y 埠
を陸軍が整備する
ための砲塔等の
ため。

2.2 晴

04.00 11.00 14.30 空襲。被害なし。

植木技士 マカニ 河口より大船に 12 人は
乗せしめ出航。 汽船 1 隻

~~植木技士~~

2.3 晴

航空隊居住施設
完成

~~バリック 101102 の通気管材を徴発し行く。~~

1330 空襲。

2.4 晴

遠征 16.00 朝日丸
へ移送し内地へ
運送

2.5 晴

19.00 金野原山丸、朝日丸各航。

北時衛長遠征を
護衛 帰国す

2.8 晴

Y 埠 抗張の木の樹木伐採 日通 3R4R
より 6R 位の木もある。

2.9 曇
10.00

バリック 島 マカニ
5 隻

2. 12 曜



13 曜

スビルガニ橋
ハリツク 101/102 本町之の道に 宿舎の修理

14 曜

ハリツク 101/102 和住部隊 (101 及 102 廠)
打合せ行。
マカール河 宿望 港りかめ。 ✓

15 曜
15 時 15 分

19.50 22カボール
泊港。

16 曜

水原地 見分。
12.00 才5 没音配 皇山技師。 又 計号 其他
来 11.0.

19 曜

航空隊 天幕 及 兵舎 直し 打合せ。

20 曜

ハリツク 101/102 機 修理 調査。

ク-102 及 テリ-
亦 敵 前 上 陸。
才5 没音配 18.00
ハリツク 島 へ 向 け 出 航

22 曜



22 日 午後 1 時
山田技師 島 行。

23 曜
15 時 15 分

山田技師 島 行。
(定 時)

3. 11 曜

没音配 司令部
10 日 102 海軍建築部 1 に 配 属 23

観望所 (没音配) 開設

3. 13 曜

102 号 宿舎 2カマール
主 車 出。

3. 18 曜
15 時 20 分

没音配 隊長 以下 幹部 5 人 宿舎 を 101/102
101/102 部 外 の 教 会 附 属 宿 舎 へ 移 3

22 日 山田技師 マカール
へ 送 出。

3. 20 曜

没音配 事務所 造 工 移 転。